

## 令和元年度（平成 31 年度）LEAP 中間評価 評価項目

1. 研究開発進捗状況について
  - ・ 研究開発計画に対する進捗状況はどうか
2. 研究開発成果について
  - ・ 成果が着実に得られているか
  - ・ 成果は医療分野の進展に資するものであるか
  - ・ 成果は新技術の創出に資するものであるか
  - ・ 成果は社会的ニーズに対応するものであるか
  - ・ 必要な知的財産の確保がなされているか
3. 実施体制
  - ・ 研究開発代表者を中心とした研究開発体制が適切に組織されているか
  - ・ 十分な連携体制が構築されているか
4. 今後の見通し
  - ・ 今後研究開発を進めていく上で問題点はないか
  - ・ 問題点がある場合は、研究開発内容等の変更が必要か
  - ・ その際にはどのように変更又は修正すべきか
  - ・ 今後の研究開発計画は具体的で、明確な目標が設定されているか
5. その他事業で定める事項
  - ・ 世界をリードする顕著な研究成果を発展させることで、日本発の画期的な医療を実現し、それにより健康長寿社会の形成や関連する産業の育成、それらの国際展開などに繋げていくことができるか
  - ・ 研究開発期間の終了時点において、臨床研究及び治験への橋渡しや実用化を実現するための産業界への導出に向けて、研究開発等の流れが継承されることが期待できるか
  - ・ 研究開発期間終了後も研究を継続できる人材育成、企業連携やベンチャー起業等の出口、グローバル人材の取り込みにつながる取組を行っているか
  - ・ PM の活動状況は、どうか
6. 総合評価
  - 1～5 及び下記の事項を勘案して総合評価する
  - ・ 生命倫理、安全対策に対する法令等を遵守した計画となっているか
  - ・ 若手研究者のキャリアパス支援が図られているか
  - ・ 専門学術雑誌への発表並びに学会での講演及び発表など科学技術コミュニケーション活動（アウトリーチ活動）が図られているか
  - ・ 計画の見直し、中断・中止等の措置が必要か